



進藤裕之 後援会 NEWS

発行 | 進藤裕之 後援会

発行責任者 | 高須保弘

〒465-0831 長岡京市神足焼町1
松下労働電子半導体支那
☎(075) 956-9943

印刷 | きたむら工房

部
内
資
料

ずっと住み続けていきたい長岡京市をめざして 市民アンケートを行いました

しんどうひろゆき
進藤裕之の **5**つの政策



進藤裕之

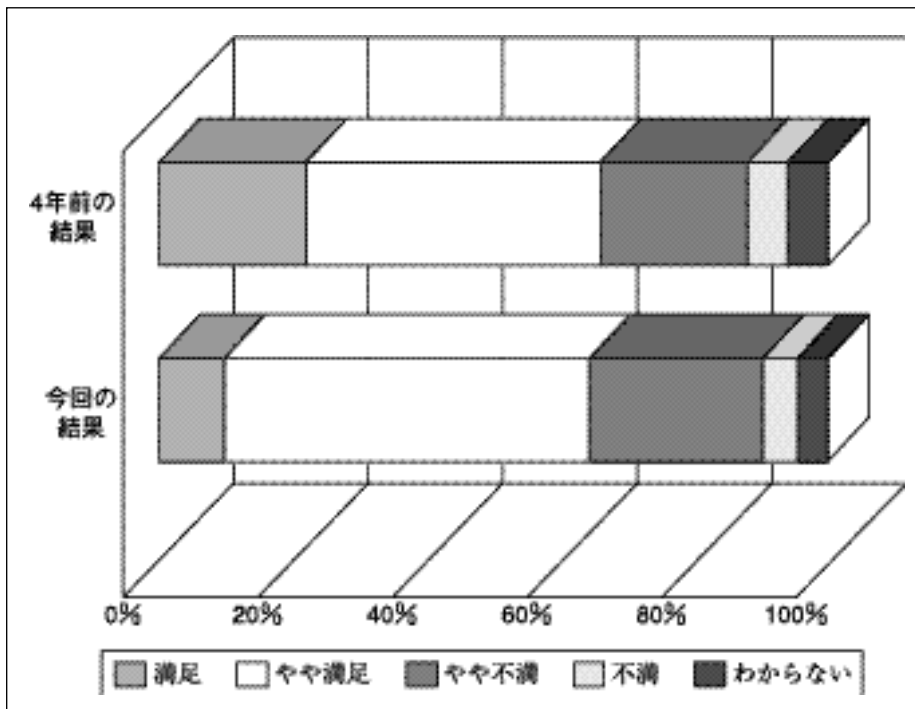
- 市民にわかりやすい双方向の豊富な情報共有で開かれたわかりやすい議会の実現
- 行財政改革推進と乙訓地域の連携強化で合理的行財政運営の推進
- 地域/家庭/学校の連携で子どもたちがいきいきと成長できる環境の整備
- 地域の福祉充実と防災施策の推進で全ての人にやさしい安心なまちづくりの実践
- 地球環境にやさしいライフスタイルの推進で自然と共生できる暮らし文化の創造

進藤裕之 後援会では、これからの長岡京市のまちづくりを考える進藤裕之の活動の参考にさせていたいただくために、この7月に「市民アンケート」を行いました。今わたしたちの身の周りには、少子・高齢化対策や地球環境対策さらには地方分権や行財政改革の推進など避けては通れない

課題がたくさんあり、長岡京市も例外ではありません。今回のアンケートは、このような課題に対して市民の皆様がどのような方向を調査させていただいたものか、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

皆さんの声を
『5つの政策』に反映していきます

<長岡京市に対する満足度>について



アンケートに回答いただきました方の男女比率は、女性の方が62%と多く、年齢構成は50歳以上の方が67%を占めました。なお、有効回答総数は438件でした。はじめに、長岡京市に対する満足度についてお聞きしました。アンケート結果では「満足」と「やや満足」を加えると64%となっており、4年前のアンケート結果(66%)とあまり変化はありませんが、「満足」だけを見ると前回の22%から10%に半減しています。これは、住民の方の中に市政を含めた地域施策に対し、何らかの不満が増加しているのではないかと見ることもできません。(左図)

3人のうち2人の方が
長岡京市に満足?

交通事情と上下水道への不満多数

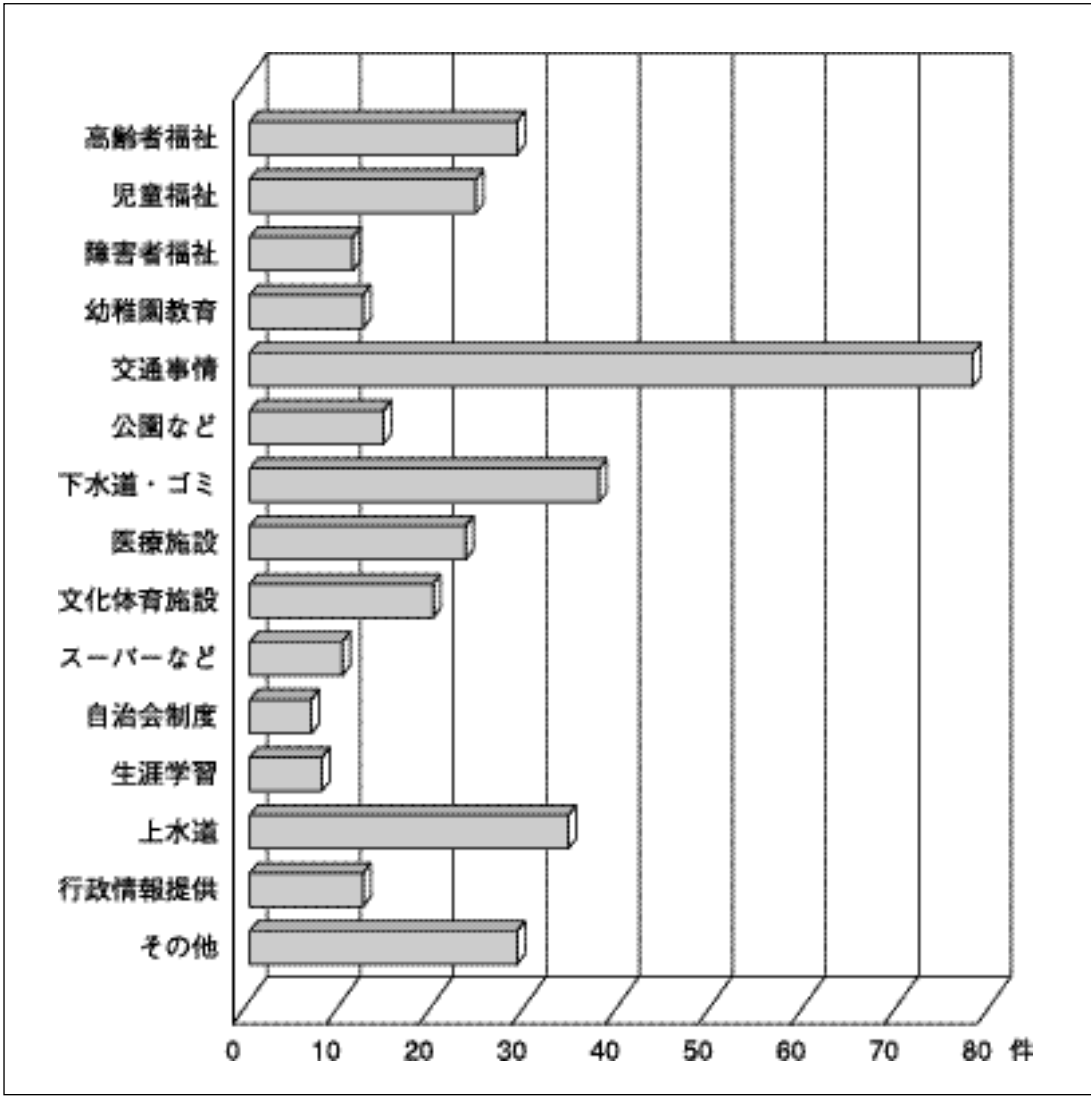
「やや不満」「不満」の理由を分析すると交通事情は4年前と同じくダントツで多く、道路がせまい・歩道がない・狭い・デコボコであるといった意見や、渋滞解消策としての道路と鉄道の立体交差化の要望が多数あります。単に交通の利便性を要望するのではなく、緊急時の対応や高齢者／障害者福祉、歩行者の安全の観点も含めての意見・要望も多数寄せられています。

上水道／下水道への不満も多く、水がお

いしくなくなったことや同時に料金が上がったことに対しての不満が多数寄せられました。

長岡京市は全体的に「住みよい街」(『2000年行政サービス水準ランキング・日経産業消費研究所』でも上位にランキング)ですが、かつて住み始めた方たちの高齢化が徐々に進んでいます。単発的な道路／福祉／水道／ゴミ対策などというのではなく、長く住みよいまちづくりをするために、総合的な観点での施策をとっていくことが長岡京市にとって重要と考えられます。(左図)

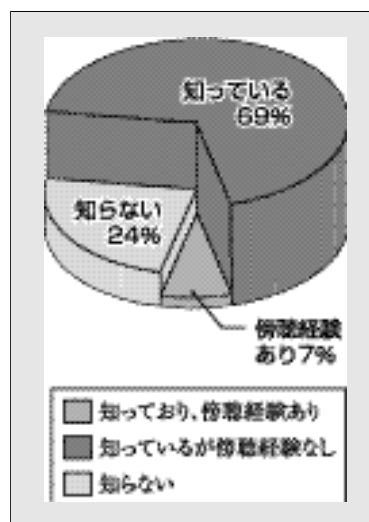
＜不満の主な要因は何ですか＞



市民と行政をつなぐ 双方向の情報発信は必要

長岡京市議会が市民に公開する情報量について、3人のうち2人の方が「適当」と答えられました。全体的にとりたてて不満の声はありませんでしたが、「有益な情報が少ない」という意見や「市民が理解できるような行政評価の情報提供を期待する」といった意見もありました。

長岡京市議会が傍聴できることをご存知ですか



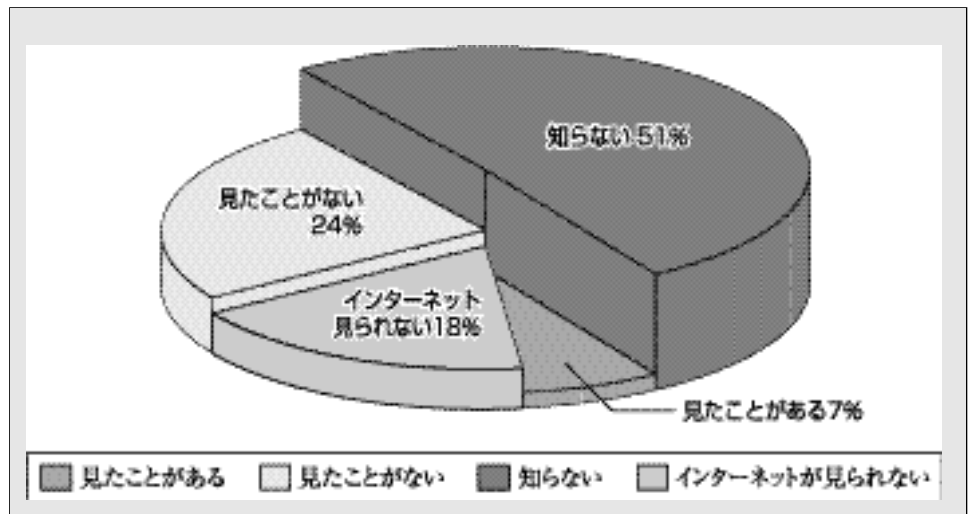
市議会傍聴について

市政の決定機関で、かつ情報発信の場でもある市議会の傍聴ができることを24%の方がご存知ありませんでした。一方で、傍聴の経験があるという方が7%おられるというのは、アンケートにお答えいただいた方の議会への関心が高いという側面を伺わせます。市議会では、長岡京市の明日のくらしを決める重要な案件が多数論議されています。傍聴経験のない方については、市議会の場でどのようなやりとりがなされているか、一度傍聴の機会をもたれてはいかがでしょうか。(右図)

市議会の傍聴手続き

本会議の当日に市役所3F議会事務局で住所・氏名を記入し、傍聴証の交付を受けるだけです。あとは係員の指示に従って傍聴席に入ります。

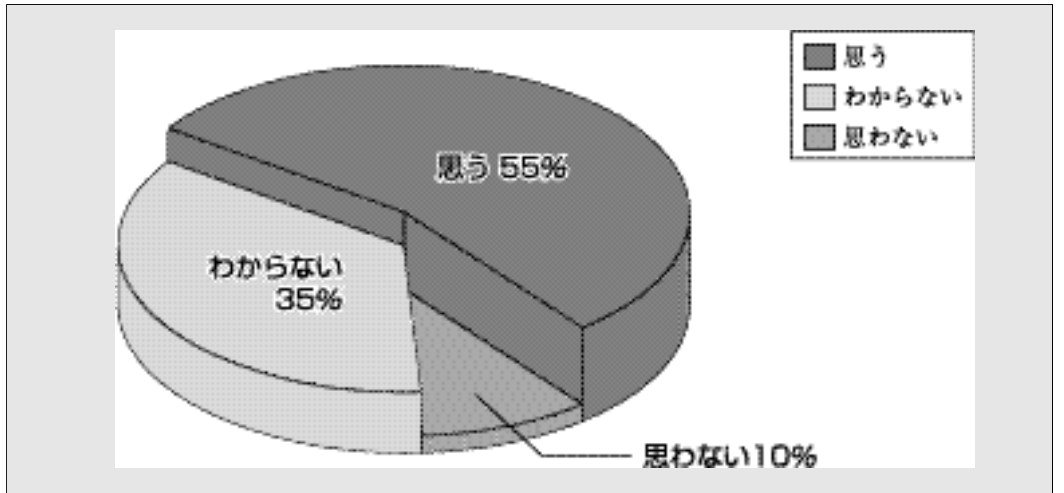
インターネットで市議会の情報が閲覧できることをご存知ですか



インターネットによる情報公開

今日では、住民と国・地方自治体を結ぶ情報手段としてインターネットが重要な役割を果たすようになってきていますが、インターネットで市議会の情報が公開されていることを知っている方の中で、「見たことある」方は3人のうち1人しかおられません。この理由は、市議会及び行政への関心度があまり高くないためかもしれません。また「インターネットが見られない」と回答された方が、アンケートに回答頂いた方の年齢層のわりには少ないのですが、これは見られない方が「知らない」の中に含まれているのかもしれないと推測しています。(右図)

市民と行政をつなぐツールとしてインターネットは有効だと思いますか



インターネットの有効性について

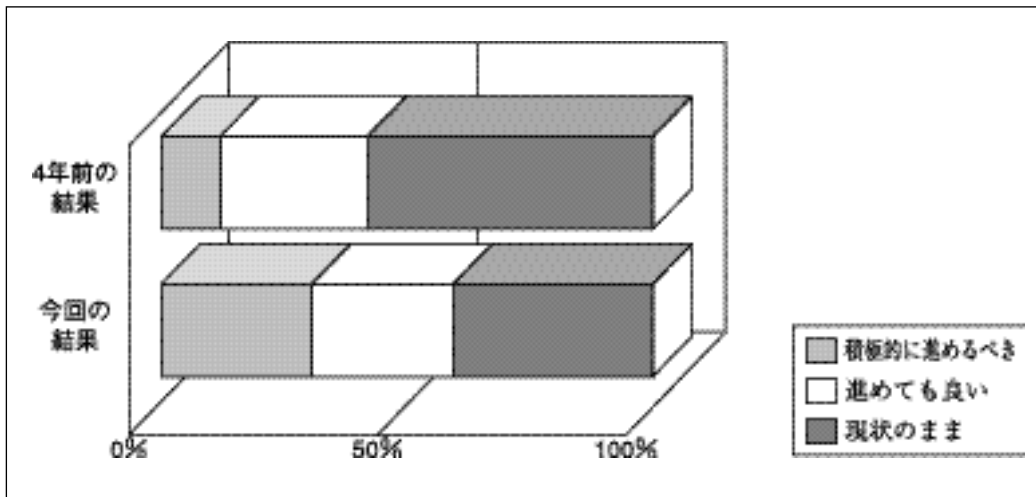
「市民と行政をつなぐツールとしてインターネットは有効だと思いますか」の質問に対して、「わからない」を除いて、「思う」は「思わない」の5倍超の結果になっています。これはインターネットの重要性が十分に認識されている結果と考えられ、市民と行政の双方向発信の必要性を物語るものと考えています。

しかし、市民の方からの質問などの情報発信に対して、納得性ある回答が行政に求められることになり、行政の責任も重くなると考えます。(右図)

合理的な行財政運営 推進のために

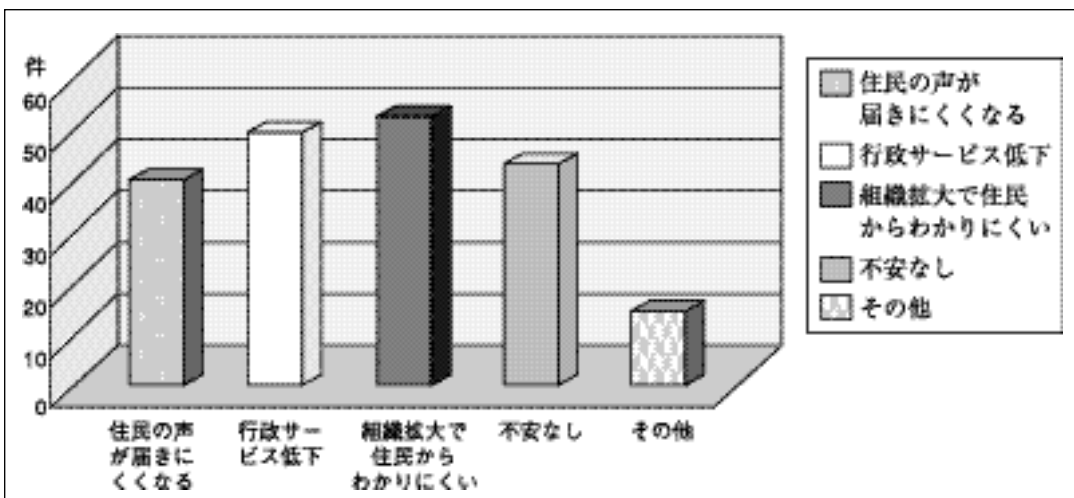
今後、合理的な行財政運営を検討していくにあたり、「市町村合併は必要だと思いますか」の質問をしました。4年前の結果と比較して「積極的に進めるべき」「進めてもよい」を合わせて前回の42%から60%となり、市町村合併を求める声は増加しています。(左図)

市町村合併は必要だと思いますか



しかし「市町村合併に際して不安に思うことは何ですか」では、「不安なし」に比べて、

市町村合併の際に不安に思うことは何ですか



大きくなる行政組織に対して住民へのサービス低下や住民の声が届きにくくなることを心配されている方も多数おられます。一方で、国政レベルでは財政構造改革が叫ばれ、それが国民のたいへんな支持を得ています。同じように今回のアンケートにおいては議員と市職員が多いという意見も寄せられています。これらのサービス低下の懸念という課題については解決すべきことと考えて、合併前提の方向で行政のスリム化も同時に進めていくべきだと考えられている市民の方が多い結果となっています。(左図)

事業見直しのシステムは必要

「不必要と思う事業は見直しできるシステムが必要だと思いますか」の質問では、「わからない」を除いて圧倒的多数の方が「必要」と答えられました。

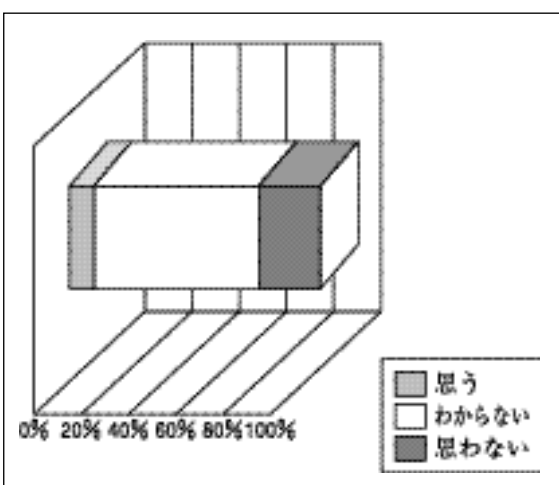
この明らかな結果は、市民の方が不必要と考える事業が実際にあることを物語っているといえるかもしれません。

具体的意見としては、JR西口駅前再開発などがあげられていました。

市の財政運営に不満？

「長岡京市の財政運営は健全だと思いますか」の質問は答えにくい質問であったかもしれませんが、「わからない」が多かったのも頷けます。「思う」「思わない」だけで見ると、「思わない」が「思う」の2.5倍程度になっています。(左図)

長岡京市の財政運営は健全だと思いますか



具体的な意見として議員・市職員が多くの意見が挙げられ、それに伴う人件費・退職金の問題が、また無駄と思われる公共事業など、市民の方が税金の使われ方に満足されていないのではないかとということが伺えます。